

資料 4

令和 2 年度ハンセン病問題対策協議会統一要求書

第 2 社会復帰・社会内生活支援関係（事前照会回答）

1 社会復帰者等に対する支援事業について

(1) 昨年度（平成 31 年度）の相談事業の実施状況

派遣ののべ回数	181
支援をした退所者の実数	77

対応した相談員の実数	31
------------	----

相談員の職種	社会福祉士
	精神保健福祉士
	医療ソーシャルワーカー

<p>具体的な支援の例（医療体制や介護体制との連携）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域コーディネートとして相談員 1 名を派遣し、沖縄県医療ソーシャルワーカー協会、沖縄県社会福祉士会、沖縄ソーシャルワーカー協会、沖縄県精神保健福祉士協会のそれぞれの担当者とハンセン病療養者における沖縄の医療体制の整備について情報共有と話し合いを行った。 ・ 「裏傷プロジェクト」を立ち上げて、7 月 21 日に認定訪問看護師協会 関東甲信越ブロック研修会でのコーディネートを行った。参加者は 8 名であった。医師、退所者 2 名をゲストスピーカーにお呼びしての講演会であった。参加した看護師全員がアンケートで「感動した」との回答で、好評であったと評価している。 ・ 10 月 3 日東洋大学でハンセン病回復者の講演を企画し、開催した。退所者が講師として参加し、同行支援を含めて相談員も参加した。大学からは 120 名の学生が出席した。
--

登録相談員への研修の回数、内容	0
-----------------	---

(2) 昨年度（平成 31 年度）のピア相談の実施状況

派遣ののべ回数	4
支援をした退所者の実数	2

登録している退所者の数	
関東	5
近畿	7
中国	1
九州	2
沖縄	4

具体的な支援の例	
<ul style="list-style-type: none">・ 家族、親族との関係についての相談 （ケースによっては社会福祉士や弁護士に話をつなぐこともあり）・ 給付制度についての相談と説明・ 現況届記載と提出についての補助	

登録している退所者の研修の回数、内容	0
--------------------	---

(3) 昨年度（平成 31 年度）の講演等の実施状況

派遣ののべ回数	54
---------	----

講演の受け入れ先の実数	
関東	2
近畿	7
中国	0
九州	22
沖縄	0

登録している退所者の数	
関東	5
近畿	7
中国	1
九州	2
沖縄	4

具体的な講演先の例	
・ 小学校	・ 中学校
・ 高等学校	・ 専門学校
・ 短期大学・大学	・ 商工会
・ 市民団体	・ 宗教法人
・ 教育委員会（教員研修）	・ 自治体（職員研修）

講演等に対応している退所者への研修の回数、内容	0
-------------------------	---

(4) 本年度（令和2年度）の相談事業の実施状況※令和2年4月～9月末まで

相談ののべ回数	153
派遣ののべ回数	96
支援をした退所者の実数	18

支援をした退所者の実数(ブロック)

北海道	東北	関東	東海・北陸	近畿
		5		10
中国・四国	九州	沖縄		計
	2	1		18

対応した相談員の実数	9
------------	---

相談員の職種	社会福祉士
	精神保健福祉士
	保健師
	看護師

登録している相談員の数	20			
北海道	東北	関東	東海・北陸	近畿
1	0	7	1	7
中国・四国	九州	沖縄		計
3	0	1		20

具体的な支援の例（医療体制や介護体制との連携等）

- ・「宮古・石垣の退所者への支援を今後どうするかについて関係機関と調整していきたい。その活動に協力してほしいので話し合いたい」という希望の電話相談を受け、話し合いの調整。
※コロナの影響を受け暫く様子見になっている。
- ・ 家族補償金の申請支援
- ・ 退所者給与金現況届の書類取得、作成支援
- ・ 通院、検査同行、病院医療相談室との連携
- ・ 介護保険サービスの申請支援・連絡調整
- ・ 健康状態・生活状況の把握、安否確認
- ・ オンライン会議への接続支援
- ・ 買い物同行、居宅清掃補助
- ・ コロナ禍での生活、健康状態の相談

登録相談員への研修の回数、内容	0
-----------------	---

(5) 本年度（令和2年度）のピア相談の実施状況※令和2年4月～9月末まで

派遣ののべ回数	3
支援をした退所者の実数	3

登録している退所者の数	
関東	5
近畿	7
中国	1
九州	2
沖縄	4
具体的な支援の例	
・ 籍の異動に伴って発生する給付等制度について	
・ 家族補償金制度について	
※いずれも対面による相談	

登録している退所者の研修の回数、内容	0
--------------------	---

(6) 本年度（令和2年度）の講演等の実施状況※令和2年4月～9月末まで

派遣ののべ回数	8
---------	---

講演の受け入れ先の実数	
関東	0
近畿	0
中国	0
九州	8
沖縄	0

登録している退所者の数	
関東	5
近畿	7
中国	1
九州	2
沖縄	4

具体的な講演先の例
・ 中学校 ・ 大学 ・ 市民団体 ・ 教育委員会（教員研修） ・ 自治体（職員研修）

講演等に対応している退所者への研修の回数、内容	0
-------------------------	---

2 本年度のハンセン病対策事業（ふれあい福祉協会委託分）において、同協会が予定している事業の評価のため当事者の意見を聞く仕組みについて

（回答）

ふれあい福祉協会が所管する事業については、それぞれの実施団体から報告書の提出を受けているが、主催者側からだけでなく参加者等の感想や意見を聴取するため、アンケートを実施するほか、当日、最寄りの相談員らを事業の現場に派遣してレポートをさせる取り組みを進める。それらの結果を総合し、回復者代表らによる検討会を開き、事業の適正化、効率化を図る。今後は家族の会にも検討、評価に加わっていただきたい。

THE UNIVERSITY OF CHICAGO
DEPARTMENT OF POLITICAL SCIENCE

PH.D. THESIS
POLITICAL SCIENCE
THE UNIVERSITY OF CHICAGO
DEPARTMENT OF POLITICAL SCIENCE
PH.D. THESIS
POLITICAL SCIENCE